

## 東京 2020 に向けたアスリート・観客の暑さ対策に係る関係府省庁等 連絡会議について

平成 29 年 6 月 29 日  
内閣官房オリパラ事務局

### 1. 経緯

東京大会は 7 月から 9 月の暑さが厳しい期間に開催され、世界各国から我が国の夏の暑さに慣れていない多くの外国人や障害者が訪れることが見込まれることから、暑さ対策を進め、アスリート、観客等が過ごしやすい環境を整備することが必要。

このため、「東京 2020 に向けたアスリート・観客の暑さ対策に係る関係府省庁等連絡会議」を平成 27 年 5 月に設置。第 2 回会議（同年 7 月）では関係府省庁等から取組の報告を行い、第 3 回会議（同年 9 月）にて「東京 2020 に向けたアスリート、観客等の暑さ対策に係る中間とりまとめ」を策定。

平成 27 年 11 月に情報発信 WG を立ち上げ、熱中症の説明や予防法など外国人等に対して発信すべき情報の内容と提供手段のあり方について検討。

### 2. 第 4 回連絡会議の開催（平成 29 年 6 月 19 日）について

東京大会まであと 3 年となる夏を迎えるにあたり、暑さ対策を確実に推進するため、関係府省庁等におけるこれまでの実施状況と今後の取組を確認。

### 3. 今回の連絡会議における報告で確認された取組

別紙のとおり。

### 4. 今後について

各府省庁等において大会に向けた暑さ対策に係る取組を着実に実施するとともに、来年以降も効果的な対策を実施するため、年に 1 回程度、連絡会議を開催予定。

## 第4回東京2020に向けたアスリート・観客の暑さ対策に係る 関係府省庁等連絡会議で報告した主な取組

### 1. 競技会場等の暑さ指数の測定

環境省において、大会期間中における熱中症予防に必要な情報の充実に向け、平成29年度より競技会場等の12地区程度を対象に暑熱環境を調査し暑さ指数の推計手法を検討する。

組織委員会において、環境省が行う暑さ指数の測定結果を踏まえ、大会期間中の暑さ対策の取組を検討する。

### 2. 新国立競技場の暑さ対策

スタジアム内に風を送り込む「風の大庇」、「気流創出ファン」、外部空間の温度を下げる「ミスト冷却装置」、空調設備を備えた「観客用休憩室」等の設置を計画しており、大会に間に合うよう着実に整備を進める。

### 3. マラソン、競歩沿道等の暑さ対策

国土交通省において設置した、「アスリート・観客にやさしい道の検討会」において、総合的な道路空間の暑熱対策について検討され、平成28年10月に今後の取組の方向性が提言として取りまとめられたところである。今後、当該提言を踏まえ、国土交通省は関係機関と連携し、路面温度上昇抑制機能を有する舗装や道路緑化等の必要な対策を推進する。

### 4. 夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドラインの改訂

環境省において「夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン（暫定版）」の見直しを行うとともに、その周知啓発を進める。

組織委員会において、当ガイドライン（暫定版）を参考に、日陰エリアの提供や入場待機時間の縮減等、大会期間中の暑さ対策の取組を検討する。

### 5. 外国人向け熱中症関連情報の発信

観光庁において、災害時情報提供アプリ（Safety tips）によるプッシュ型の熱中症情報の発信、熱中症についての解説や外国人受入可能な医療機関情報を発信する。（英中韓）

その他、以下のような情報発信を行う。

- ・環境省、気象庁、東京都ウェブサイト（英）
- ・リーフレットの配布（英）
- ・観光予報プラットフォーム（英中韓）
- ・訪日外国人のための救急車利用ガイド（英中韓伊仏タイ）
- ・消防庁熱中症広報メッセージ（英中韓）
- ・外国人向けラジオ放送（TOKYO FM）のスポットCM（英）
- ・民間団体等（World 声かけ隊）と連携した航空機内の動画発信（英中韓）
- ・政府広報誌（英）